

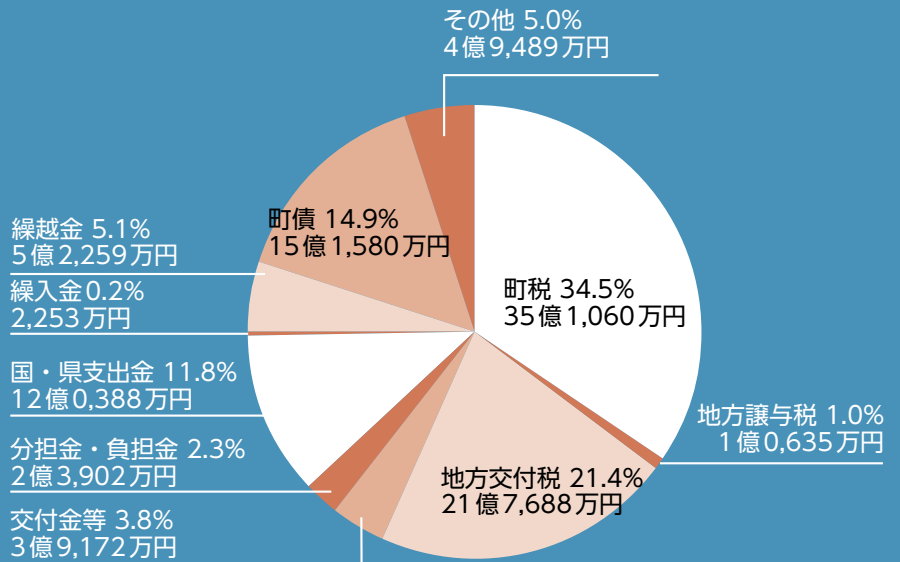
# 平成26年度 決算報告

## 一般会計歳入

歳入総額 101億8,426万円

町の収入で一番大きい町税は、景気の回復はまだまだ鈍いものの、一部企業の業績回復が見られ、法人税収が約2億4,422万円増収となり、町税全体でも約2億3,416万円の増額、率にして7.1%の伸びとなりました。

国・県支出金、町債が合わせて8億円ほど増加していますが、これは国の経済対策である臨時給付金事業や、東みわ保育園建設、北小学校増改築事業による補助金、起債による借入れが要因です。



### 3 住みやすく人にやさしい都市基盤の整備を目指したまちづくり

国道153号線バイパス4車線化に伴う生活道路整備として、木下地区の町道508号線の整備を引き続き進めると共に、橋梁長寿命化計画に基づき、中央自動車道を渡る跨道橋の修繕工事に着手し、松島橋などの修繕を実施しました。

さらに、平成21年度から継続事業である4mに満たない道路を整備する狭あい道路整備等促進事業に取り組み、木下城山地区、木下北保育園付近の587・588号線の用地取得などを行いました。また、少子高齢化などの社会情勢の変化により県の都市計画道路見直し指針に沿い、前年度に引き続き都市計画道路の見直しを行っています。

下水道については、平成26年度末の整備率は97.4%となりました。

### 2 誰もが健やかに暮らせるぬくもりのあるまちづくり

乳幼児医療の無料化の対象者を満18歳に達する最初の3月末までの高校3年生まで拡大しました。また、引き続き「病児・病後児保育」を導入し、更に安心して子育てができる環境づくりを進めています。ハード面では、東みわ保育園建設のほかに、沢保育園用地の取得、三日町保育園園庭拡張用地を取得しました。子育て世帯臨時特例給付事業では、3,300人へ交付を行いました。また、10年目となるみわ健康アカデミーは、現役生だけでなく卒業生による取組みも活発で、個人の健康づくりにとどまらず、コミュニケーションを重視したプログラムの成果が現れています。



### 平成26年度の主な事業振興計画の6つの柱に沿って説明します。

#### 1 ふれあいを深め、みんなでつくる協働のまちづくり

セーフコミュニティ国際認証を取得した5月12日を「箕輪町安全安心の日」と宣言し、日本記念日協会に登録するとともに、「箕輪町安全安心の日制定記念フォーラム2014」を実施しました。



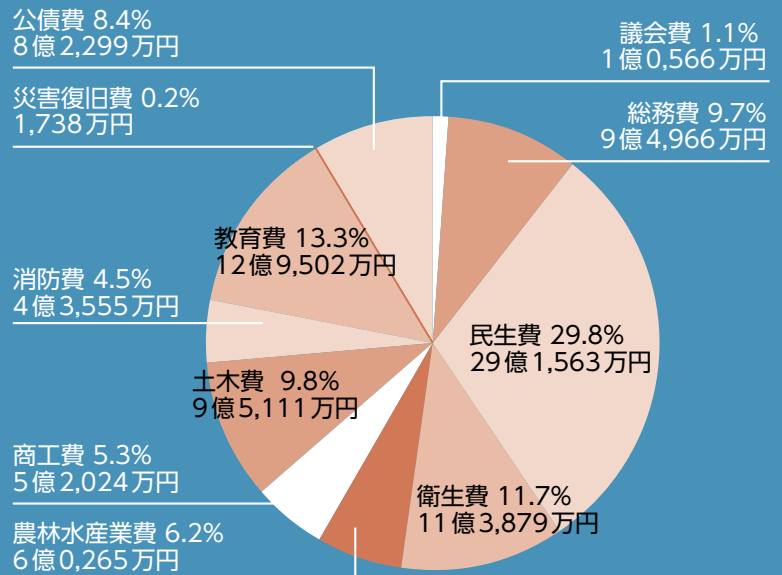
平成26年度は、歳入総額 101億8,425万7千円、歳出総額 97億5,468万円、歳入歳出差引き4億2,957万7千円、翌年度に繰越すべき財源8,958万9千円を除いた実質収支額は、3億3,998万8千円となりました。

昨年と比較すると、歳入・歳出ともに約10億円多くなっています。これは、東みのわ保育園の建設、北小学校増改築事業、社会資本整備事業などのハード事業のほか、国の臨時給付金事業など臨時的なソフト事業の実施要因として挙げられます。

## 一般会計歳出

歳出総額 97億5,468万円

民生費は前年に比べ約2割、5億1,650万円ほど伸びています。東みのわ保育園建設事業や臨時福祉給付事業によるものです。消費費は前年に比べ約2割、7,889万円の増加で、これは平成27年4月1日からの上伊那消防広域化に伴う本部庁舎・指令センター及びデジタル化整備工事によるものです。また教育費は前年に比べ、約4割、3億8,462万円の増加となっています。主な要因は北小学校多目的室・特別教室増築事業の実施と図書館建設に向けた基金の積み立てです。



### 6 豊かな文化を育み、次世代を担う人材を育てるまちづくり

箕輪中学校が長野県から「ICTを活用した先駆的モデル的な実践研究パイロット校」の指定を受け、ICT推進事業として、タブレットパソコン140台を導入し、教育環境の向上を図りました。青少年健全育成事業では、「あいさつ運動」を開始し、各区や、学校にのぼり旗を配布しました。図書館事業では、「キャリアデザインシンポジウム」を開催し、これからの図書館の可能性について学ぶ機会が設けられました。



### 5 創造と活力に満ちた産業を育てるまちづくり

農業に取り組む新規就農者支援のため、農業インターン事業で2人、青年就農給付金事業で5人の農業者に対して助成を行いました。また、3人の地域おこし協力隊員が任命され、農産物直売所にこりこを拠点に、都会からの自然観察団体の受け入れや、地域営農組合の行事への参加など町の農業振興活動を行っています。農業構造改善施設の改装を行い、「にこりこキッチンたべりこ」としてオープンし、賑わっています。観光施設では、「ながた自然公園のリニューアル事業」に着手し、施設の充実を図っています。



### 4 環境にやさしく、安全・安心・快適に暮らせるまちづくり

3年目となる太陽光発電設備の導入に対する支援を実施し、6年間で3027.2キロワット、およそ900世帯をまかなえる発電能力を町内に生み出しました。また、地域交通の面では、みのちゃんバスを2台更新し、伊那松島駅待合室の拡張工事を実施しました。消防団については、団員確保が大きな課題である中、女性消防団員も18人と増加しました。装備面では、地域活動助成事業により、安全性の高いヘルメットを配備しました。



## 特別会計

会計名		収入済額	支出済額
国民健康保険 特別会計	事業勘定 診療施設勘定	24億1,682万円 5,679万円	23億8,069万円 5,679万円
後期高齢者医療特別会計		2億3,068万円	2億2,586万円
介護保険特別会計		17億6,215万円	17億5,387万円

## 公営企業会計

会計名	区分	収入済額	支出済額
水道事業会計	収益的収支	5億7,563万円	6億5,172万円
	資本的収支	1,750万円	1億8,918万円
下水道事業会計	収益的収支	11億4,354万円	11億0,962万円
	資本的収支	4億1,046万円	8億2,771万円

## 主な事業

### 水道事業会計

第5次拡張事業として減圧弁の更新や配水管の布設替え、新設工事を行いました。

### 下水道事業会計

汚水・雨水の管渠埋没工事を実施するとともに、箕輪浄水苑の設備関連の長寿命化計画を策定しました。

## 町の基金（一般会計）

町の貯金である財政調整基金は、利子分235万円を積み立て、図書館建設基金に2億500万円積み立てました。一般会計全体では24億4,900万円となります。

基金名	現在高
財政調整基金	15億1,834万円
減債基金	1億9,119万円
福祉基金	1億7,802万円
商工業振興資金貸付基金	1億6,000万円
土地開発基金	1億1,000万円
みのわ温泉関連施設整備基金	484万円
その他（図書館建設基金など）	2億8,661万円

## 町債の現在高

町債（地方債）の借入残高は、平成26年度末で91億3,807万円となっており、実質公債費比率は12.1%となりました。なお、一般会計以外の会計の借入残高は、下水道事業など総額で135億3,129万円となっています。

会計名	現在高
一般会計	91億3,807万円
国民健康保険特別会計	1,245万円
下水道事業会計	117億2,299万円
水道事業会計	17億9,585万円

## 平成26年度 決算審査報告

町は、法律の定めにより会計年度ごと決算を調製し、決算書類、諸帳簿等とともに、監査委員による審査を受けることとなっており、この審査を「決算審査」と言い、概要は次のとおりです。

### 審査の対象

- 会計管理者所管の一般会計、特別会計（3会計）歳入歳出決算
- 公営企業会計決算（2会計）
- 決算における財政健全化判断比率及び公営企業会計の資金不足比率

### 審査の期間

平成27年6月25日から8月17日まで

### 審査の方法及び内容

一般会計及び特別会計については、提出された決算書及び諸帳簿の計数（数値）に誤りはないか、財産管理は適切か、予算の使い方は関係法令に従って効率的になされているか等を、公営企業会計については、上記のほか事業の経営成績、財政状態、その運営が経済性を発揮し公共の福祉の増進に寄与しているかを審査しました。

財政健全化判断比率及び公営企業会計の資金不足比率については、各比率が関係法令に基づき算定され、その算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかを審査しました。

### 審査の結果

審査の結果は、平成27年8月20日付「審査意見」として町長に提出しました。全文を町公式ホームページに掲載いたしましたのでご覧ください。

箕輪町監査委員

問合せ先

監査委員事務局 ☎79-3111（内線311）